

## せせらぎ苑事業報告（3年計画中間報告）

### ◇平成30年度～令和元年度 総括

平成から令和に変わった令和元年度、4月には働き方改革法案のうち「時間外労働の上限規制の導入」と「年次有給休暇の確実な取得」が施行され、せせらぎ苑でも就業規則規程等の改正と、職員個々に有給休暇取得に関する調査を行い、確実な取得に向けて勧奨を行った。また、令和2年4月施行の「正規・非正規雇用労働者間の不合理な待遇差の禁止」に向けても、情報収集を行い、部署や職種別の業務内容の確認や整理を経て、現状に応じた規程の変更を実施した。

また、令和元年度は前年（平成30年度）に策定した3年計画の2年目であり、「周囲への気配りができ、プラスストロークが飛び交う事業所」を目指し、①基本方針と運営指針の浸透と徹底②サービスの質の向上とリスクマネジメント③人材の確保・育成・定着④業務の見直しと改善、という4つの大きな課題に対し、組織や委員会を再編成し、計画的に事業を実施した。

### ◇平成30年度～令和元年度 課題別事業報告

#### ①基本方針と運営指針の浸透と徹底

職員の階層ごとに法人の基本理念や歴史を学ぶ機会として、役職別や階層に応じた会議（議論）や研修を実施した。人権尊重については、階層別研修で「ハラスメント防止」について学び、定例で実施している身体拘束適正化の研修も階層別で実施できた。

#### ②サービスの質の向上とリスクマネジメント

利用者の要望や家族の思いを聴取すべく、介護事故苦情要望検討チームを中心に、特養及びショートステイの利用者・家族へアンケート調査を実施し、現状の評価を行った。また、自己評価第三者評価チームにおいても、サービスを評価する仕組みとして、自己評価の定例実施と外部評価受審の検討を進めることができた。

また、有事の際の対応としても防災委員会では土砂災害の対応マニュアル策定、感染症対策委員会では、感染症対応マニュアルの見直しと研修会の実施により事業継続についての検討を行った。

#### ③人財の確保・育成・定着

採用活動を中心に検討する採用チームを中心に学生のニーズに合った説明会の実施や資料や配布物の作成を行った。令和2年度の採用に向けては、マイナビと連携のもと、Webセミナーの収録も行い新たな取り組みの準備を行った。働き方改革チームでは、「定着」にむけて職員の見取り入れたユニフォームの見直しやメンタルヘルス・腰痛予防の研修を実施した。

また職員の見取り課題や悩みを解消するために風通しの良い職場コミュニケーションが図れるよう、組織規程の改正を行い、業務上の相談にあわせ専門職としての育成やフォロー、相談支援ができる「科長」体制を取り入れて、フォロー体制を確立した。

#### ④業務の見直し・改善

介護記録については、部署ごとに研修や他施設の見学など情報収集を行い、すでに取り入れている部門では見直しを、未実施の部門では取組みに向けた検討を進めた。その他、業務の整理や見直しを行い、分業化と多様な人財の活用により、残業時間の削減にもつなげることができた。

## 令和元年度 せせらぎ苑事業報告

### ◇部門別事業報告

#### ①事務室（甲南会事務局）

法人事務局機能強化にむけて、組織規程の改正を行い、4月から法人本部事務局として、業務の整理と人員配置を行った。人事異動などもあり、戸惑いが多い一年であったが、事務職員の互いの業務分担が変更になり、ワークシェアリングへの第1歩になった。事務職員においては自分に必要な知識を身につけるべく研修に積極的に参加し、研鑽につなげた。

#### ②栄養室

利用者の最適な食事提供や家族等への情報提供を行うために、サービス担当者会議等に参加し多職種と連携、情報収集と提供する食事について検討を行った。また、献立作成時に使用食材の考慮や作業時間への配慮を行い、温冷配膳車を使用するにあたっては、業務の時間配分を検討するなど作業への余裕を持たせ、作用中の怪我などの防止にも貢献できた。

#### ③生活相談室

ソーシャルワーカー間の連携を強化、フォローしあえる体制づくりとして情報交換の場（ソーシャルワーカー会議や福祉科会議の開催）を設けることができた。

看取りケアの充実については、オンコールの対応がスムーズに行えるよう、オンコール体制における相談報告内容の収集・整理を行った。また医務看護室と連携し入所者家族に対しても、入所者の心身の状態について医師と直接面談ができる機会を設けることで、安心して看取りケアにつなげられる仕組み作りを行った。

#### ④医務看護室

入所者の急変時に、夜間でも落ち着いて対応ができるよう、ケアワーカーに対し、吸引の方法やAEDの使用についてなどの研修を行った。

生活相談室と連携し、入所者の心身の状態について医師から面談により、直接説明が受けられる機会を確保する仕組みができた。

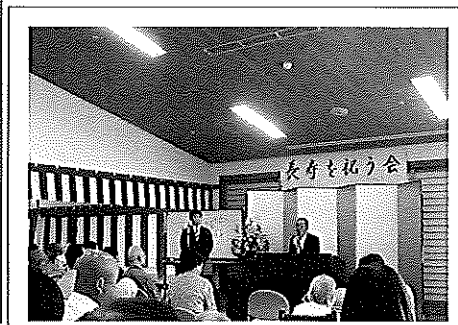
看護職員が少ない中でも、入所者が安心して生活できるよう、業務の見直しや改善を行った。

#### ⑤施設介護室

業務改善に向けての取り組みに力を入れた1年となった。「インカム」を導入することで、利用者の情報共有がタイミングよく行えるだけでなく、職員の無駄な動きやダブリを軽減することにつながった。また、機械浴の入れ替えを行い、安全・快適な入浴を提供することができた。

【行事報告】

4月	水口曳山祭り参加	10月	みんなでワイワイ秋の大運動会
5月	みんなでワイワイ春の大運動会	11月	秋を感じるもみじツアー
6月	あじさい見学	12月	クリスマス忘年会 ケーキバイキング
7月	夏祭り・流しそうめん	1月	元旦 鍋パーティー
8月	夏を感じるかき氷作り	2月	節分（鬼は外！福は内！）
9月	長寿を祝う会	3月	春を感じる散歩 ひな祭り



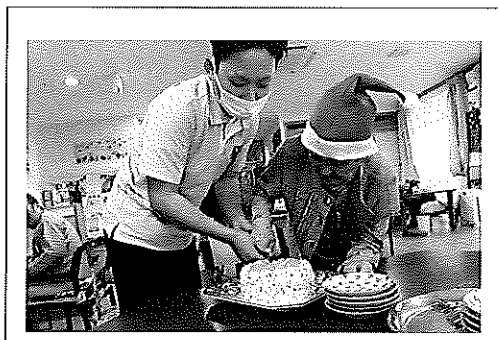
⑥-1 在宅介護室（ショートステイ） 今年度は、食事やおやつ作りと季節のイベントに加え、利用者の声や思いを実現する企画を計画し、より一層利用者の楽しみを増やす取り組みを行った。1年を通し季節を感じてもらいながら、充実した日々を過ごしていただくことができた。また、サービス向上に向けては、利用者が安心して利用できるよう個別ケアを重視し、認知症ケアにも対応できる体制作りにも力を入れた。

業務改善については、部門内の会議や意見交換の機会を体系的に行うシステムを確立し、さらに、業務をスムーズに行うため、ICTの活用など他施設の取り組みの情報収集を行った。職員の不安やケアの課題に対しての研修を、適宜行える体制づくりもでき、スタッフの質の向上と働きやすい環境づくりにつながった。

【行事報告】

4月	・春の風を感じながら白玉ぜんざいでほっこりと	10月	・秋の味覚の味噌汁作り ・寒くなってきたので熱々お好み焼であたたまろう
5月	・新元号 令和式典とジュースで乾杯 ・プランター入替大作戦！ ・牛乳パック de 簡単いろいろ	11月	・手作り炊き込みご飯 ・豆乳で作るもちもち葛餅作り ・もみじの木を作って紅葉を楽しもう
6月	・梅雨に負けないあじさいヨーグルトプリン作り ・夏野菜の苗植えをして成長を楽しもう。	12月	・みんなでクリスマスケーキを作って食べよう ・クリスマスにみんなでタコパ☆ ・年末特番！ショートカラオケ歌合戦！ ・鳥居づくり
7月	・七夕飾りと七夕クイズ大会 ・昔懐かしい綿菓子を食べよう	1月	・元旦の朝は甘酒でカンパイ！ ・元旦に昼は茶碗蒸し ・せせらぎ神社に初もうで♪ ・正月遊び(羽根つきなど) ・絵馬に願いを ・おみくじで運試し ・書初め大会 ・獅子舞踊り見物 ・鏡開きにぜんざい作り ・芋羊羹を作って食べよう ・梅の木作り

8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あっさり梅ご飯づくり</li> <li>・夏の終わりを花火で楽しもう</li> <li>・季節を感じる流しそうめん</li> </ul>	2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悪い鬼をやっつけよう</li> <li>・パンケーキ好きにデコレーション</li> <li>・ひな壇づくり</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿を祝う会</li> <li>・焼き芋で秋を感じよう</li> </ul>	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「さつまいも蒸かしたの食べたいわっ」の声にお応えして蒸し器でさつまいも調理♪</li> <li>・春のお茶会</li> <li>・桜作り</li> <li>・ほうれん草のお浸しづくり</li> </ul>



#### ⑥-2 在宅介護室（デイサービスセンター）

今年度も個別ケアを重視したレクリエーションを継続するため、利用者に適した用具を見直し、種類を増やすことで、意欲の向上につなげられ、レクリエーションも充実した。壁画作りや巨大絵馬といった作品作りにも力を入れ、利用者が持ち帰り、ご家族や関係者と共有していただけるような作品も制作することで、利用者と一緒に楽しみながら季節を感じ取っていただくことにもつながった。

利用者や家族の希望に応じて、安心して利用していただけるよう、利用日の調整や振替利用なども積極的に取り組んだ。

#### 【行事報告】

4月	桜の壁画飾り作り	10月	運動会
5月	豆乳プリン作り	11月	巨大絵馬作成
6月	藤の花飾り作り	12月	クリスマスケーキ作り
7月	流しそうめん	1月	絵馬づくり 正月レク
8月	夏祭り	2月	節分
9月	長寿を祝う会	3月	ひな祭り人形作成 桜の花作り



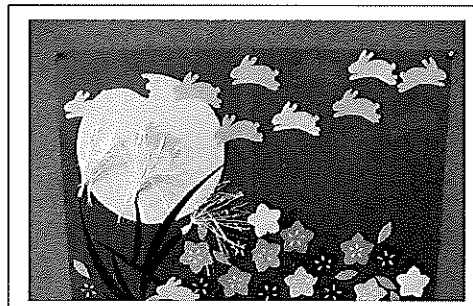
## ⑦生活支援室

### (1)ケアハウス

今年度は、活動意欲の高い入居者が多くなりから、6月から、毎月「手作りクラブ」という名称で、様々な作品を作る活動を開始し、壁画やリースづくりなどを皆で取り組んだ。また、経年劣化していた、入居者居室の空調更新工事が全室完了し、快適な室温管理ができるようになった。

#### 【行事報告】

4月	・期日前投票 ・映画会 ・お花見とランチツアー ・甲南のぞみ保育園と顔合わせ	10月	・手作りクラブ ・甲南のぞみ保育園と芋ほり
5月	・出張デパート ・懇談会 ・映画会	11月	・手作りクラブ ・映画会 ・ランチツアー ・懇談会
6月	・ランチツアー ・手作りクラブ ・映画会 ・甲南のぞみ保育園とさつまいもの苗 植え	12月	・手作りクラブ・映画会 ・クリスマスコンサート ・クリスマス会
7月	・小学生へのプレゼント作り ・手作りクラブ ・映画会 ・期日前投票 ・懇談会 ・甲南のぞみ保育園と七夕飾り作り	1月	・ぜんざいパーティー ・手作りクラブ ・初詣と新年会 ・懇談会 ・映画会
8月	・手作りクラブ ・映画会 ・流しそうめん	2月	・手作りクラブ ・ひな祭り準備とお茶会
9月	・手作りクラブ ・映画会 ・長寿を祝う会 ・懇談会	3月	・ひな祭りお茶会 ・手作りクラブ・懇談会
毎月定例行事 ・カラオケ ・買い物ツアー ・巡回図書			



### (2)居宅介護支援事業

ケアマネジャー常勤3名と非常勤職員1名の4名体制にて特定事業所加算の算定を継続し、特定事業所加算を算定する事業所としての役割を果たすべく、個々のケアマネジャーのケアマネジメント能力の向上に力を入れた。事業所内でのケース共有や事例検討、勉強会と、ケアマネジャーが受講した研修についての報告、共有を週1回ミーティング時に実施した。また、甲南町内の居宅介護支援事業所と連携し、年2回の合同事例検討会への参加も継続し研鑽を重ねた。今年度は災害時を想定し、担当利用者の指定緊急避難場所の確認や、避難行動要支援者名簿、避難行動要支援者個別計画の研修に参加し、災害時の対応について力をいれて学んだ。

### (3)訪問介護事業

利用者のニーズに丁寧に応じ、利用者の体調変化や、サービスの利用状況などをケアマネジャーや他事業所への連絡を密に行い、連携を図ることができた。サービス内容の変更時には迅速かつ柔軟な対応を心掛けた。非常勤訪問介護員の訪問後の事業所立ち寄りの徹底や、メール、電話等で密に連絡を取ることで、すべての訪問介護員に対し、利用者の情報を共有する仕組みづくり

に力を入れた。利用者が住み慣れた自宅での生活が不安なく継続できるように努めた。

#### ⑧グループホーム室

今年度は利用者の夢を叶えるための夢実現ツアーが実施できた。また、季節を感じていただくための活動を取り入れ、入居者と職員が一緒に楽しめた。

利用者の介護度の重度化にともなって、福祉用具を円滑に活用する工夫や看取りケアの実施により最後までグループホームで過ごしていただくことができた。

職員のキャリアアップについては、資格取得のためのフォローを行い、介護福祉士合格へつながった。また滋賀県老人福祉施設協議会研究協議大会においても実践発表ができた。

運営推進会議については、規定通り2カ月に1回、全6回開催し（うち1回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止より書面開催）、地域の方や行政からの貴重な意見をいただいた。

#### 【行事報告】

4月	・お花見 ・ドライブツアー ・歌声喫茶	10月	・秋の運動会 ・NHK朝ドラ「スカーレット」鑑賞会 ・夢実現ツアー ・さんまパーティー ・畑づくり
5月	・歌声喫茶 ・端午の節句茶会	11月	・ピザ作り ・文化祭 ・家族会大掃除
6月	・歌声喫茶 ・鮎の塩焼き ・水無月作り ・外食ツアー	12月	・年賀状作成 ・忘年会
7月	・夕涼み会 ・七夕祭り参加 ・七夕お茶会	1月	・お正月行事 ・初詣 ・書初め
8月	・お盆茶話会 ・歌声喫茶	2月	・節分豆まき
9月	・長寿を祝う会 ・重陽の節句お茶会 ・歌声喫茶	3月	・ひな祭り ・お彼岸参り

## ◇委員会別事業報告

### ○サービス向上委員会

サービス向上委員会規程に則り、計画的に事業を実施した。プロジェクトチームにより、各課題にきめ細やかに対応し、現状に則した研修会などを実施できた。全体会議においても、各チームの情報共有に加え、階層別研修の進捗状況や振り返りの確認をし、働き方改革法案に関する情報共有も行った。

#### ・自己評価・第三者評価チーム

自己評価様式が統一になったことで、共通項目については施設全体で検討する仕組みを確立でき、各事業の自己評価も行いやすくなった。委員会等への振り分けをすることにより、多くの職員が参画し、自己評価を行い、課題抽出を行えた。ただ、フィードバックについては課題が残ったため、来年度に引き継ぎたい。

グループホームの外部評価の見学を実施できたことで、次年度は特養で第三者評価を受審するためのイメージができた。

#### ・身体拘束ケア評価チーム

身体拘束の適正化を図るため、3か月に1回以上、定例で検討会を開催することができた。身体拘束適正化に向けた研修についても、新人研修とは別に「全職員対象研修会」と「職種や経験年数に応じた研修会」の年2回を実施することができた。内容についても、アンケートを参考にチームで検討を加えた。リーダー層での研修では、適切なケアに結び付けられるアセスメントの視点や、リーダーシップの発揮、後輩の育成について考える機会とすることができた。また、階層別の一般研修ではビデオを通じて身体拘束されることの苦痛や、生じる弊害を改めて認識することができた。

#### ・介護事故・苦情要望検討チーム

各部門で発生する、介護事故や苦情対応事例などの再検討・再検証をし、検証内容から現状にふさわしい研修企画を行い、年2回の研修を実施した。

令和元度においては、ヒヤリハット154件、アクシデント456件（平成30年度ヒヤリハット103件、アクシデント264件）の報告書が提出された。また、その内甲賀市へ16件、滋賀県へ1件（平成30年度は甲賀市に4件）の行政報告を行なった。万が一の介護事故や利用者の物品破損については、賠償保険を契約しており、対人・対物事故補償や見舞金として38件 993,248円（平成30年度 13件 266,871円）の保険金を請求した。

月 日	実 績	
平成31年 4月 22日	身体拘束・ケア評価チーム	会議① 趣旨と年間計画
令和元年 5月 15日 23日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議① 年間計画について
	自己評価・第三者評価検討チーム	会議① 趣旨と計画について
令和元年 6月 1日 ～5日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修①
	7日	サービス向上委員会
13日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議② 介護職対象研修について1

令和元年 7月	11日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議③ 介護職対象研修について2
	16日	自己評価・第三者評価検討雄チーム	会議② 自己評価仕分け作業、各担当へ配布
令和元年 8月	5日～8日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修1（ビデオ研修）
	26日	サービス向上委員会	会議② 各チームの状況と階層別研修実施報告
	28日	介護事故・苦情要望検討チーム	介護職対象リスクマネジメント研修
令和元年 9月	9日	身体拘束・ケア評価チーム	会議③ 全体研修評価、研修2計画
	25日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議④ 利用者アンケートについて
令和元年 10月	4日	介護事故・苦情要望検討チーム	利用者家族アンケートの実施
令和元年 11月	10日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑤ アンケート集計
令和元年 12月	2日	身体拘束・ケア評価チーム	会議④ 研修2階層別について計画
	6日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑥ リスクマネジメント全体研修について
	16日	サービス向上委員会	会議③ 各チームの報告と自己評価の実施
	17日	自己評価・第三者評価検討雄チーム	会議③ 自己評価回収、チェック
	23日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑦ アンケート結果について
令和2年 1月		自己評価・第三者評価検討雄チーム	特養：自己評価結果より課題抽出 居宅介護：自己評価提出 デイ、訪問介護、ケアハウスに自己評価（共通項目）配布
	9日	介護事故・苦情要望検討チーム	会議⑧ 全体研修について
	9日 16日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修2（役職者対象） 身体拘束適正化研修2（中堅A対象）
令和2年 2月	4日	自己評価・第三者評価検討雄チーム	GH外部評価見学 デイ、訪問介護、ケアハウス：自己評価提出
	6日	身体拘束・ケア評価チーム	身体拘束適正化研修2（中堅B対象）
	9日	介護事故・苦情要望検討チーム	リスクマネジメント全体研修
令和2年 3月	9日	サービス向上委員会	会議④ 各チームの報告と働き方改革の情報共有
	27日	自己評価・第三者評価検討雄チーム	会議④ 今年度の反省と来年度に向けて

### ○給食委員会

給食運営規程に基づき、食品衛生管理の徹底に関する項目の検討を行った。また、嗜好調査などにより、利用者の食事に関する要望への対応に努めた。

苑全体の課題への対応として、配膳のあり方について検討を深め、温冷配膳車を再導入した。食器についても利用者に適したものへの変更について順次検討を始めた。

月 日	実 績	
令和元年 6月 3日	第1回給食委員会	年間計画について 利用者の食事について 平成30年度ケアハウス嗜好調査結果について



令和元年 9月 9日	第2回給食委員会	利用者の食事について
令和元年 12月 16日	第3回給食委員会	食器について 利用者の食事について
令和2年 3月 9日	第4回給食委員会	利用者の食事について ケアハウス嗜好調査の実施

### ○防災委員会

災害時、最善の行動がとれるよう、訓練を実施し、利用者・職員双方に「命を守るための行動」を発信した。併せて、非常災害時、職員がスムーズに対応できるよう発電機の点検および動作確認。排煙装置の開閉点検を2ヶ月に1回の頻度で行った。また、防災倉庫について、有事の際に誰もが使いやすいように整理を行った。

月 日	実 績	
令和元年 6月 7日 10日	第1回防災委員会 設備点検	災害備蓄用品について 災害マニュアルについて 発電機排煙装置自主点検
令和元年 8月 16日 30日	設備点検 消防設備点検	発電機排煙装置自主点検 せせらぎ苑機器点検・グループホームせせらぎ総合点検
令和元年 10月 10日	設備点検	発電機排煙装置自主点検
令和元年 12月 10日	設備点検	発電機排煙装置自主点検
令和2年 2月 8日	設備点検 避難訓練 消防設備点検	発電機排煙装置自主点検 昼間想定・火災通報・避難誘導訓練 せせらぎ苑総合点検・グループホームせせらぎ機器点検
令和2年 3月 24日	避難訓練	夜間想定・火災通報・避難誘導訓練

### ○防犯設備委員会

今年度も、不審者対策として、外来者の記録の徹底を継続した。また設備の管理としては、照明のLED化について特養部門を中心に区画を分け、更新箇所の検討および一部施工を進めた。

### ○人財育成委員会

今年度も、人財（財産）の確保について、採用から育成、定着までを一連の流れとし、採用は「採用チーム」にて、育成は「育成チーム」にて、定着は働きやすい職場を実現すべく「働き方改革チーム」として、3つのチームに分け、連携し人財の確保に取り組んだ。

#### ・採用チーム

せせらぎ苑の強みは何かをチーム員で話し合い、採用に活用できる「エピソード集」（せせらぎ苑を選んだ理由や働き続けられる理由など）を整理した。また、介護の魅力を発信すべく Web セミナーの収録に向けて取り組み、魅力的なインターンシップの検討を行った。年間セミナー参加回数 7回 ブース来場 35名 施設見学 5名 採用 2名

・育成チーム

従来から継続して取り組んでいる「介護プロフェッショナルキャリア段位制度」の研修会については、1名を派遣することができた。また、前年度に実施した職員アンケートに基づき希望の多い「介護記録」と「認知症」について研修会を企画した。「介護記録」の研修会については外部より講師として、滋賀県介護福祉士会より山和美氏（びわこ学院大学）を招き、多くの学びを得られたと職員の好評を得た。また、次年度の研修に向けてのアンケートを職員に向けて実施した。

・働き方改革チーム（安全衛生委員会）

前年度までのチーム会議で人財定着の視点を強化し、今年度は、魅力ある職場環境を追求し、苑全体および調理室用のユニフォームを一新した。新ユニフォームは、機能面でも優れ、職員のモチベーションアップにもつなげることができた。また、腰痛対策や介護の負担軽減を目指し、腰痛予防研修や介護技術研修を継続して実施した。

月 日	実 績	
平成31年 4月 30日	育成チーム	会議① 事業計画の確認・担当分担
令和元年 5月	8日	働き方改革チーム 会議① チームの目的の確認と年間計画について
	22日	採用チーム 会議① チームの目的の確認と3年計画について
令和元年 6月	14日	働き方改革チーム 会議② 制服の検討・アシックスシューズ説明会について
	16日	採用チーム カイゴとフクシの就職フェア in しが 参加
	22日	採用チーム 甲賀・湖南就職フェア 参加
	25日	働き方改革チーム アシックスシューズ説明会の開催
	26日	採用チーム 龍谷大学 砂籐ゼミ 講師派遣
	28日	育成チーム 研修会「記録と報連相」 開催
	令和元年 7月	2日
4日		採用チーム 会議② 就職フェア参加報告と情報共有
令和元年 8月		育成チーム アセッサー研修1名派遣
	9日	働き方改革チーム 会議③ 制服について 介護技術・腰痛予防研修について
	19日	採用チーム 就職フェア参加
	21日	採用チーム 会議③ フェア参加報告とエピソード集の作成について
令和元年 9月	15日	働き方改革チーム せせらぎ苑新ユニフォーム導入
	19日	採用チーム 会議④ インターンシップセミナー参加報告 エピソード集作成
	24日	採用チーム 会議⑤ Webセミナーについて
	28日	採用チーム カイゴとフクシの就職フェア参加
令和元年 10月		働き方改革チーム 調理室 新ユニフォーム導入
	24日	採用チーム 会議⑥ 就職フェア参加報告・Webセミナーについて

令和元年	11月	17日	採用チーム	甲賀・湖南就職フェア参加
		27日	採用チーム	会議⑦ Webセミナー参加者及びチーム員で話し合い
		28日	育成チーム	研修会「認知症研修」開催
令和元年	12月	2日	働き方改革チーム	介護技術研修の実施
令和2年	1月		育成チーム	次年度研修について（アンケート実施）
		16日	採用チーム	女性のための就職フェア
		22日	採用チーム	Webセミナー収録
		28日	採用チーム	滋賀ジョブフェア参加
		30日	採用チーム	会議⑧ 就職フェア報告・インターンシップの検討
令和2年	2月	3日	働き方改革チーム	腰痛予防研修の実施
		13日	育成チーム	会議③ 研修の振り返り、次年度研修アンケートについて
令和2年	3月	10日	働き方改革チーム	会議⑤ 腰痛予防研修のアンケートについて
		11日	採用チーム	会議⑨ 介護補助職員の説明会について
		13日	育成チーム	会議④ 次年度の事業計画について・全体研修について

### ○感染対策委員会

特養においては、流行前から超音波クールミスト加湿器を活用し2年連続でインフルエンザ発症を抑えることができた。ケア後の消毒のために職員一人ひとりに配布した消毒スプレーについても、さらに手指消毒の研修を行ったことで重要性を実感した。次年度に向けては、コストダウンや異食のある利用者の安全面も考慮したミニクローラの導入の検討を進めた。

月	日	実 績	
平成31年	4月	4日	新人研修 「感染症予防について」「高齢者に多い疾患」他
令和元年	5月	6日	会議① 今年度計画と目標・研修計画
		18日	利用者健康診断の実施
令和元年	7月	1日	感染症対策研修①の実施 手洗いと標準予防策について
		～5日	
		19日	
令和元年	8月	2日	会議② 個人用ヒビスコールの使用状況について 研修時間の検討
令和元年	9月	6日	夜勤者健康診断の実施
		20日	特養肺炎球菌ワクチン予防接種の実施
令和元年	10月	7日～12日	感染症対策研修②の実施 インフルエンザ・ノロウイルスについて
		23日・25日	(甲南病院出前講座)
		18日・25日	職員インフルエンザ予防接種
令和元年	11月	1日	利用者インフルエンザ予防接種
令和元年	12月	27日	会議③ ミニクローラの導入について

令和2年	2月	10日	会議④	グループホームインフルエンザ発症報告と共有・マニュアル見直し
		25日	会議⑤	臨時委員会 新型コロナウイルス感染症について
令和2年	3月	5日	職員健康診断の実施	

#### ○重度化対策委員会（褥瘡予防・看取りケア）

入所者の介護度の重度化が進む中、チーム全体で利用者の状態変化を共有し、家族に密に状態の報告を行った。医師から家族への説明の機会を多く持ち家族支援にもつなげた。100歳を超える最高齢者の入所者の看取りにおいては、家族との関り、苦痛の緩和、食べることへの援助の大切さを学ぶ機会となった。リハビリ職との連携により、移乗や安楽な姿勢の助言をもとに介助を行っているが、骨折に至るケースもあり、今後の研修への課題を感じた。今年度は入所者の夜間急変が多かったため、AEDの設置場所の見直し変更を行った。

月	日	実 績	
令和元年	5月 6日	会議①	今年度計画と目標・研修内容について
令和元年	6月 21日	褥瘡予防研修	ブレードスケールと皮膚構造について
		看取りケア研修	看取りと急変時の対応について
令和元年	9月 9日	会議②	
	25日	口腔内吸引研修	

#### ○ボランティア・地域貢献委員会

ボランティアの受入について、部門からの各種ボランティアの要請の整理・調整を行った。開設より実施してきたボランティア交流会（交流や学びの場）の継続開催もできた。また、地域貢献活動にむけて、地域の要望に応じて、小学校への出前講座や小学生のせせらぎ苑見学も受け入れ、福祉の仕事の魅力発信の機会にもなった。

月	日	実 績	
令和元年	5月 21日	会議①	今年度計画について
	22日	ニューポリス	「すまいるサポート」出前講座
令和元年	6月 6日	甲南第一小学校	出前講座
	17日		
	～	甲南第一小学校	「ゆうタイム」 見学と体験
	18日		
令和元年	7月 18日	会議②	小学生向けパンフレット作成 ボランティア交流会について
令和元年	9月 10日	社会福祉法人やまなみ会	見学
令和元年	10月 15日	会議③	ボランティア交流会について
令和元年	11月 24日	ボランティア交流会	開催
令和元年	12月 17日	会議④	ボランティア交流会の総括
令和2年	3月 5日	会議⑤	次年度計画について

## ○広報・情報公開委員会

開設より発行してきた広報紙「清流」について、引き続き年3回（87～89号）発行することができた。特に今年度は元号が変わる瞬間を写真におさめるなど旬の話題を取り入れたり、利用者だけでなく職員の活動（研修や互助会の旅行など）の記事を載せてせせらぎ苑の活動をさらに広く発信することができた。

今年度もサービス向上委員会「介護事故・苦情要望チーム」が実施した利用者家族アンケートの結果を清流で公表するなど委員会を越えた連携を発揮した。

もう一つのミッションである施設のパンフレットについては、次年度完成に向けてプロジェクトを進めている。

月 日	実 績
令和元年 5月	広報紙 「清流」 87号発行
令和元年 6月 12日	会議① 紙面会議
令和元年 9月	会議② 広報紙について
令和元年 12月	広報紙 「清流」 88号発行
令和2年 1月	会議③ 紙面会議
令和2年 3月 13日	広報紙 「清流」 89号発行 会議④ 次年度計画について



◇事業別事業報告

(1) 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設） 定員68名：多床室・従来型個室

①入所者の状況

令和2年3月末 入所者数	内訳		
	県内	県外	入居中(再掲)
男： 12	12	0	0
女： 57	56	1	1
計： 69	68	1	1

※措置により定員超え

令和元年度新規入所者				令和元年度退所者				
在宅	病院	その他	計	入院	他施設	死亡	在宅	計
5	1	2	8	3	0	3	0	6
9	0	10	19	6	0	14	0	20
14	1	12	27	9	0	17	0	26

死亡退所の内11名について看取りケア実施

②年齢別入所者状況（令和2年3月末現在）

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	0	3	3	1	0	4	0	1	12
女性	0	1	1	1	7	13	20	13	1	57

③身体拘束等入所者制限行為の状況

(有  無 )

対象者数	行為の内容	やむを得ず制限した理由
0名		

④令和2年3月末現在

最高齢	最年少	平均年齢
104	69	88.6

⑤預り金等の状況

令和2年3月末 施設管理入所者数	預り金総額	一人当たりの預り金(平均)	個人別の状況	
			最高額	最低額
3 人	4,455,749 円	1,485,249 円	3,678,230 円	267,015 円

⑥待機者状況（令和2年3月末）

待機者数	内 訳		
	甲南町内	甲賀市内 (甲南以外)	その他 (甲賀市外)
169	69	84	16

⑦利用料金額の状況（令和2年3月）

平均利用料金(月額)	80,395 円
月額利用料最高額	139,834 円
月額利用料最少額	38,705 円

※入院・外泊者等・生活保護受給者を除く

⑧介護報酬請求状況

	実人数 (令和2年3月)	令和元年度 延べ人数 (人数)	平成30年度 延べ人数 (人数)
要介護度等の 状況	要介護1	2	544
	要介護2	2	606
	要介護3	11	2,492
	要介護4	31	10,653
	要介護5	22	8,603
	合計	68	22,898

平均要介護度	4.14 (H30年度：4.16)
定員充足率	92.0% (H30年度：94.4%)

加算請求状況	延べ件数
栄養マネジメント	22,867
入院外泊	426
初期加算	961
日常生活継続支援加算	22,867
生活機能向上連携加算	800
看護体制加算Ⅰ	22,867
看護体制加算Ⅱ	15,216
再入所時栄養連携加算	0
退所前連携加算	0
口腔衛生管理体制加算	800
夜勤職員配置加算	22,867
看取り介護加算	203 (11人)

※令和元年度請求分のみ（令和2年3月末確定分含まず）

⑨措置入所状況

事由	著しい介護困難
実人数	2 人
延べ利用日数	557 人
延べ在籍日数	557 人

⑩医療処置の必要な入所者数(令和2年3月)

胃ろう	3 (4)	褥瘡処置	2 (2)
バルーンカテーテル留置	2 (4)	痰吸引	0 (3)
在宅酸素療法	1 (1)	インスリン注射(血糖測定)	0 (0)

※( ) 内年度内最大人数

(2) ショートステイ(短期入所生活支援事業) 定員20名：従来型個室

①介護報酬請求状況

		実人数 (令和2年3月実績)	延べ人数 令和元年度 年間人数	延べ人数 (平成30年度 年間人数)
要介護度等の 状況	要支援1	0	6	40
	要支援2	2	73	53
	要介護1	13	703	802
	要介護2	26	1,816	1,592
	要介護3	27	1,626	1,714
	要介護4	15	1,248	1,240
	要介護5	11	1,170	1,186
	その他	0	0	0
	合計	94	6,642	6,627
歴日数			366	365

②利用者に係る居宅サービス  
計画作成事業所(令和2年3月)

	居宅介護支援事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	15
2	ケアプランセンター心地	13
3	甲賀市社協ケアプランセンターぬくもり	12
4	ひなたぼっこ居宅介護支援センター	11
5	JAゆうハートケアプランセンター	10
6	その他	33
計		94

③措置入所状況

事由	著しい介護困難
実人数	1 人
延べ人数	22 人

平均要介護度	3.02	(H30年度：3.02)
定員充足率	90.7%	(H30年度：90.8%)

(3) デイサービスセンター(通所介護事業) 定員40名/日

①利用者の状況 (令和2年3月登録者)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	計
人数	37	36	38	33	35	38		217

※登録のみ当月利用なしの利用者含む

※複数回利用のため重複利用者あり

②要介護度等の状況(デイサービス)

		実人数 (令和2年3月利用)	延べ人数 令和元年度 年間人数	延べ人数 (平成30年度 年間人数)
介護報酬	要支援1	0	42	185
	要支援2	3	317	953
	要介護1	25	2,407	2,054
	要介護2	12	1,779	2,017
	要介護3	15	1,583	2,045
	要介護4	15	1,617	1,681
	要介護5	9	773	700
	その他	0	0	0
	合計	79	8,518	9,635
※短時間利用者含む人数				
事業日数			311	308

③利用者に係る居宅サービス  
計画作成事業所(令和2年3月)

	居宅介護支援事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	24
2	ひなたぼっこ	13
3	甲賀市社協ケアプランセンターぬくもり	9
4	その他	33
計		79

平均要介護度	2.47
( ) 内平成30年度	(2.33)
1日平均利用者数	27.4人
( ) 内平成30年度	(31.3人)

入浴利用延人数	7,503人
( ) 内平成30年度	(8,697人)
入浴利用率	88.1%
( ) 内平成30年度	(90.3%)

④年齢別利用者状況 (令和2年3月登録者)

	~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男性	0	0	1	3	3	5	5	5	2	24
女性	1	1	4	3	8	20	18	5	3	63

最高齢	最年少	平均年齢
106	57	89.1

(4) ケアハウス 定員15名 全室個室

①入居者の状況

令和2年3月末 入所者数	内訳		入居経路			入居前住所地							
	在籍者	うち 入院者	在宅	病院	その他	甲南	水口	土山	甲賀	信楽	湖南	彦根	他府県
男	7	0	7	0	0	2	2	2	0	0	1	0	0
女	8	0	8	0	0	4	2	0	1	0	0	1	0

②入居者年齢別入所状況(令和2年3月末現在)

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計
男性	0	0	1	2	1	1	1	1	0	7
女性	0	0	0	1	2	1	3	1	0	8

令和2年3月末現在

最高齢	最年少	平均年齢
99	72	85.8

③要支援・要介護認定申請状況(令和2年3月末現在)

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	非該当・未申請
人数	1	1	5	1	1	0	0	6
平成30年度末	2	2	5	1	1	0	0	4

④年度内入退居者の状況

入居者数	退居者数	退所の理由			
		死亡	入院	在宅へ	他施設
4	3	0	0	0	3

⑤利用料金額の状況(令和2年3月分)

平均利用料金(月額)	90,334
月額利用料最高額	156,125
月額利用料最少額	67,350

入院・外泊者等を除く

⑥収入認定階層別人数

	令和2年3月	年間延べ月数
階層1	9	104
階層2	1	12
階層3	0	5
階層4	2	24
階層12	1	5
階層13	1	10
階層18	1	12

⑦令和2年3月末 待機者数

合計	内 訳							
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	湖南市	市外 県内	他府県
15	7	2	1	0	3	0	0	2



(5) 居宅介護支援事業所

利用者等の状況

		利用人数 令和2年3月	延べ人数 (年間人数)	延べ人数 (平成30年度)
契約件数		105	1,223	1,029
計画費請求件数		98	1,157	1,148
新規契約件数		5	28	12
サービスの担当者会議 開催回数		18	146	122
介護 給付	要介護1	27	297	323
	要介護2	18	223	200
	要介護3	11	118	141
	要介護4	11	128	120
	要介護5	1	35	5
	その他	1	1	1
予防 給付	事業対象者	1	11	10
	要支援1	12	129	137
	要支援2	16	215	211

(6) 訪問介護事業利用者状況

① 要介護度等の状況

		実人数 (令和2年3月)
契約者 数	要支援1	0
	要支援2	3
	要介護1	6
	要介護2	5
	要介護3	4
	要介護4	3
	要介護5	2
	その他	0
	合計	23

		延件数人数 (令和元年度)	延件数人数 (平成30年度)
介護 給付	介護報酬請求		
	身体介護～20	437	922
	身体介護～30	2,669	2,660
	身体介護～60	433	458
	身体介護60～	0	1
	身30生20	112	117
	身30生45	15	1
	身30生70	0	0
	身60生20	104	86
	身60生45	17	0
	生活援助～45	66	90
	生活援助45～	184	386
	合計	4,037	4,721
	予防 給付	予防Ⅰ	116
予防Ⅱ		181	171
予防Ⅲ		0	0
合計		297	325

② 利用者に係る居宅介護(予防) サービス計画作成事業所連携の状況 (令和2年3月)

	居宅介護支援事業所名	件数
1	せせらぎ苑居宅介護支援センター	12
2	居宅介護支援センターさと水口	4
3	心和ケアプランセンター	1
4	その他	3
	計	20

	地域包括支援センター委託事業所	件数
1	甲南信楽地域包括支援センター	3
2	その他	0
	計	3

(7) 認知症対応型生活介護事業(グループホーム) 定員18名：全室個室

①グループホーム入居者の状況

令和2年3月末 入所者数	内訳					令和元年度新規入居者				令和元年度退居者				
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	在宅	病院	その他	計	入院	他施設	死亡	その他	計
男： 4	2	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	2	0	2
女： 14	11	0	1	0	2	2	0	2	4	1	0	2	0	3

※※死亡退居の内2名について看取りケア実施

②年齢別入所状況

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男性	0	0	0	0	2	0	2	0	0	4
女性	0	0	0	1	0	6	2	5	0	14

最高齢	最年少	平均年齢
98	72	88.6

③要介護度等の状況(グループホーム)

		実人数 (令和2年3月)	延べ人数 (年間人数)	延べ人数 (平成30年度)
介護報酬	要介護1	1	913	1,636
	要介護2	5	1,727	1,110
	要介護3	10	2,636	2,339
	要介護4	2	386	521
	要介護5	1	601	589
	合計	19	6,263	6,195

平均要介護度 ( ) 内平成30年度	2.69 (2.57)
定員充足率 【】内短期利用含 ( )内平成30年度	95.1% 【97.0%】 (94.3%)

④短期入所利用・共用型デイ

短期入所利用※	129 人
共用型デイ	39 人

※甲賀市委託事業「生活支援ハウス」利用含む

⑤認知症高齢者の日常生活自立度

	令和2年3月末
I	0
II a	1
II b	5
III a	10
III b	0
IV	3
M	0

⑥入居期間

最長入居期間	12年2カ月
最短入居期間	1カ月
平均入居期間	2年10カ月

⑦身体拘束等入居者制限行為の状況 (有・無)

対象者数	行為の内容	やむを得ず制限した理由
0 名		

⑧利用料金額の状況 令和2年3月

平均利用料金(月額)	161,321 円
月額利用料最高額	220,798 円※
月額利用料最低額	151,447 円

※2割負担利用者  
入院・外泊等除く

⑨待機者状況 (令和2年3月)

月末 待機 者数	内 訳					
	甲南	水口	信楽	土山	甲賀	その他
30	14	6	3	0	5	2

## ◇職員の状況等

### (1) 学会発表

実施年月日	学会・研究会	テーマ	発表者
令和元年 5月26日	社)日本認知症ケア学会	「日々の暮らしの中から文化祭作品を作り上げた事例について」	藤本圭子
令和元年 11月14日	滋賀県老人福祉施設協議会 研究協議大会	「食事を食べないAさん。本当に食べたくないの？」 重度のアルツハイマー型認知症の利用者のアプローチとは	吉村陵 坪川拓己
令和元年 11月14日	滋賀県老人福祉施設協議会 研究協議大会	「Xさんの気持ちに寄り添った生活支援へのアプローチ」	藤田泰輝 井野美咲 佐々木悦子 岩瀬秀郎

### (2) 外部研修・講師派遣等

実施年月日	講座名		人数
平成31年 4月6日	龍谷大学	平成31年度 介護等体験に係る講演会	1名
平成31年 4月19日	滋賀県社会福祉協議会	メンター育成研修	1名
令和元年 6月6日	甲南第一小学校	福祉のお仕事出前講座	2名
令和元年 6月18日	龍谷大学	高齢者福祉施設における社会福祉実践論	1名
令和元年 11月8日	特定非営利活動法人滋賀県 社会就労事業振興センター	2019年度障害者介護職員養成事業	1名
令和元年 11月7日	滋賀県社会福祉協議会	令和元年度「滋賀県介護に関する入門研修」	1名

### (3) ボランティア・実習生受け入れ状況

#### ○ボランティア受入実績

活動延人数	個人	団体	
		( )内団体数	
環境整備	236	55	(2)
交流	32	369	(11)
QOL	53	94	(16)
整容など	89	46	(1)
その他	0	0	(0)
小計	410	564	(22)
合計	974		
※グループホーム含む		平成30年度 1,092人	

#### ○施設実習受入実績

実習種別	延人数
社会福祉士(援助技術)実習	23
介護福祉士実習	0
高校介護実習	0
教員免許取得に係る施設実習	0
その他(職場体験)	20
合計	43
平成30年度 241人	

#### (4) 車両管理

平成 30 年度から、福祉車両については、専門性の高い修理や保守を行うことができる業者を利用することとし、細やかなメンテナンスを行うことで安全性が向上した。

車両については、利用者の送迎や受診、自宅訪問等の用途として 17 台の管理について安全運転管理者を中心に行っているが、今年度については 14 件の事故報告があった。内訳として、送迎中の自損事故、送迎中の物損事故、送迎中の接触事故、訪問中の自損事故、原因不明の車体の損傷などがあった。利用者にご迷惑をかけたものの、幸い大事には至らなかったが、原因不明の損傷については、乗車前点検で発見されており、今後も報告体制の徹底に努めたい。なお、それぞれ事故後の対応については、自動車保険によりその都度弁済、修理を行った。

また、車両運転者に対して、業者と保険会社と連携し、内部研修も実施した。

#### (5) 処遇改善加算状況

平成 21 年度に介護職員処遇改善交付金として始まった、介護職員の処遇改善については、今年度も介護職員処遇改善加算 I を算定し、年間 33,369,707 円（平成 30 年度 34,357,001 円）の加算を算定した。今年度は、10 月から消費税増税を財源とした「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、加算要件に応じて、介護職員とその他の職種にも、給与規程を改正し、「特定処遇改善加算手当」を支給した。介護職員等特定処遇改善加算としては、6 カ月で 4,605,584 円を算定した。

## (6)施設内研修実施状況

実施日	対象区分			実施場所	研修内容 講師	研修時間	参加人員
	全正規 嘱託職員	一部職員	非常勤 職員				
平成31年4月1日～ 4月19日		○ 新人		会議室	新人研修「社会人マナー・制度・感染症・リスクマネジメント他」 各部門担当職員	323.0	8
平成31年4月12日		○ 介護職員		会議室	新しい機械浴槽について 酒井医療 坂本一弘氏	0:30	13
平成31年4月16日		○ GH		グループ ホーム	記録のポイント グループホーム管理者 桑山茜	0:30	14
平成31年4月22日		○ 中堅(2年目～ 副主任)		会議室	中堅研修としての能力開発・向上 苑長 尾崎美登里	1:10	19
平成31年4月23日		○ 居宅		居宅介護 支援セン ター	基本理念について 居宅介護支援センター管理者 木村彰子	0:40	5
令和1年5月22日		○ 新人		会議室	新人研修フォローアップ研修 介護技術編 介護科長 坪川拓己	1:15	4
令和1年5月22日		○ 居宅		居宅介護 支援セン ター	防災について 居宅介護支援センター管理者 木村彰子	0:20	4
令和1年6月21日		○ 特養		会議室	褥瘡研修 医務看護室副室長 田代佳代	0:30	17
令和1年6月21日		○ 特養		会議室	看取り研修 医務看護室副室長 田代佳代	0:30	17
令和1年6月21日		○ ショートス テイ		ショーツ テイ	居室巡視の仕方、緊急連絡対応について 生活相談室副室長 高井大地	1:00	9
令和1年6月26日	○		○	会議室	身体拘束適正化研修 介護科長 坪川拓己	0:45	126
令和1年6月28日		○		デイサービ ス	記録と報連相(出前講座) 滋賀県介護福祉士会理事 山和美氏	1:30	31
令和1年7月1日 ～7月19日	○		○	会議室	感染症研修(施設内感染と予防について学ぶ) 医務看護室 副室長田代佳代、准看護師伏谷まゆみ	0:30	130
令和1年7月19日		○ ショートス テイ		ショーツ テイ	認知症研修 在宅介護室 副主任 竹岡博美	0:30	8
令和1年8月14日		○ ショートス テイ		ショーツ テイ	夜間帯における利用者の怪我、状態悪化の対応について 在宅介護室室長谷彰人、副室長岩瀬由香子、宮本看護師、 生活相談室副室長高井大地	1:00	10
令和1年8月19日		○ 中堅(2年目～ 副主任)		会議室	中堅職員の能力開発、向上(自己成長と研鑽、情報について) 苑長 尾崎美登里	1:10	13
令和1年8月28日 (後日課題提出あり17名)	○		○	デイサービ ス	リスクマネジメント研修 生活相談室室長 久保田幸子	1:00	45
令和1年9月6日		○ SW,CM		会議室	福祉科会議(ソーシャルワーク、ソーシャルワーカーについて) 福祉科長 久保田幸子	1:00	14
令和1年9月23日		○ ショートス テイ		ショーツ テイ	危険予知トレーニング 在宅介護室 谷彰人、岩瀬由香子、竹岡博美 生活相談室 高井大地	0:30	9
令和1年9月25日		○ 特養		会議室	入浴機器の安全な取り扱いについて 酒井医療 坂本一弘氏	0:30	17
令和1年9月25日		○ 特養		会議室	口腔内吸引研修 医務看護室副室長 田代佳代	0:30	17

令和1年10月7日 (後日ビデオ研修実施)	○		○	会議室	インフルエンザとノロウイルスの予防と対策 甲南病院 看護師 長野健太郎氏	1:00	131
令和1年10月10日		○ 中堅(2年目~ 副主任)		会議室	中堅職員の能力開発、向上(自己成長と研鑽、情報について) 苑長 尾崎美登里	1:10	7
令和1年11月15日		○ ショートス テイ		ショートス テイ	感染症対策と対応の実践研修 在宅介護室副室長 岩瀬由香子、副主任 竹岡博美	1:00	8
令和1年11月28日		○		サービス	認知症研修 介護科長 坪川 拓己	1:00	22
令和1年12月2日		○ 介護職員		会議室	抱え上げない介護(出前講座) 滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター 谷佳代氏	1:30	27
令和1年12月20日		○ ショートス テイ		ショートス テイ	過去の重大アクシデントを知り、学ぶ安全配慮とは 在宅介護室 谷彰人、岩瀬由香子、竹岡博美生活相談室 高井大地	0:30	9
令和2年1月9日 1月16日、2月6日		○ 役職者、中 堅職員		会議室	身体拘束適正化研修 介護科長 坪川 拓己	1:00	35
令和2年1月9日 1月16日、2月6日		○ 役職者、中 堅職員		会議室	人権研修(ハラスメントを生まないコミュニケーション) ビデオ学習	0:30	35
令和2年1月28日		○ GH職員		GH	接遇・マナー研修 グループホーム室長 岩瀬秀郎	0:15	10
令和2年1月31日		○ 特養リー ダー		会議室	アクシデント検討会(RCA分析を用いて) 生活相談室室長 久保田幸子	1:00	8
令和2年2月3日	○		○	会議室	腰痛予防研修 山田プロスポーツ 山田栄之氏	1:00	68
令和2年2月12日 (後日ビデオ研修実施)	○		○	サービス	リスクマネジメント研修 甲賀湖南成年後見センターばんじー所長 桐高とよみ氏	1:00	143
令和2年2月17日		○ 運転に関わる 職員		会議室	安全運転講習 (有)カーテックウカイ 小笠原忠智氏	1:00	19
令和2年2月18日		○ 甲南会 中堅職員		会議室	甲南会 中堅職員交流研修 せせらぎ苑苑長 尾崎美登里	1:30	18
令和2年3月2日 ~3月5日	○ 未受講者		○	会議室	身体拘束適正化研修 クローズアップ現代(ビデオ学習)	0:30	90

合計 1,160人

※延1,289.2時間

※平成30年度 延892人 1236.9時間

## (7) 施設外研修実施状況(人権研修含む)

実施年月日	講座名	参加人数	場所
31.4.21	県社協	滋賀県社会福祉トップセミナー	1 大津
31.4.23	全国経営協	社会福祉法人制度改革 事務担当者フォローアップセミナー	1 大阪
31.4.24	若の会	選ばれた企業の労務管理・問題事例と意見交換	1 近江八幡
31.4.25	甲賀市	介護保険認定調査・介護給付適正化・高齢者福祉施策等に係る研修会	4 甲賀市
元.5.15	㈱日本経営	初めて学ぶ部下後輩指導講座	1 大阪
元.5.16	甲賀市	平成31年度甲賀市新就職者対象人権研修会	2 甲賀市
元.5.17	NOMA	給与計算のすすめ方実務講座	1 大阪
元.5.20	県社協	しが介護の職場 合同入職式	5 大津
元.5.21	滋賀県福祉施設士会	2019年度総会・研修会	1 高島市
元.5.21	協会けんぽ	事務担当者向け講習会	1 草津市
元.5.23	県経営協青年部	2019年度青年部会総会ならびに研修会	2 大津
元.5.28	県社協	介護分野で働く滋賀の福祉人育成研修 新任期第1/4回目	4 草津市
元.6.3	県社協	介護分野で働く滋賀の福祉人育成研修 新任期第2/4回目	4 草津市
元.6.5	甲賀職業安定所	公正採用選考研修会並びに学卒求人手続説明会	1 甲賀市
元.6.6	甲賀湖南介護支援専門員連絡協議会	研修会「在宅看取りのポイント」事例を用いて課題整理の総括表からケア	5 甲賀
元.6.8	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 1/8回目	1 京都
元.6.9	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 2/8回目	1 京都
元.6.11	若の会	定例会	1 近江八幡
元.6.11	県社協	介護分野で働く滋賀の福祉人育成研修 新任期第3回目	4 草津市
元.6.11~12	NOMA	社会保険・労働保険入門セミナー	1 大阪
元.6.12	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修1回目/8回	1 草津市
元.6.18	協会けんぽ	算定基礎届事務説明会	1 甲賀市
元.6.18	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修2回目/8回	1 草津市
元.6.18	甲賀・甲南地域包括支援センター	令和元年度第1回甲賀甲南介護支援専門員合同研修会	4 甲賀
元.6.22	龍谷大学	福祉フォーラム専門セミナー「どのようにして後輩の気づきと成長を促すか？」	1 大津
元.6.25	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修3回目/8回	1 草津市
元.6.26	龍谷大学	人材育成委員会採用チームの就職斡旋「福祉とは 高齢者施設とは SW	2 大津
元.6.27	滋賀県甲賀福祉事務所	第20回甲賀湖南うつ病・認知症・在宅医療等懇話会	1 甲賀
元.6.27	甲賀湖南安全運転管理者協会	若年運転者交通安全教室	1 湖南市
元.6.28	滋賀県立三雲養護学校	県立三雲養護学校石部分教室見学会	1 湖南市
元.7.02	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修4回目/8回	1 草津市
元.7.6	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 ボランティア活動	1 京都
元.7.11	滋賀県防火保安協会連合	保安講習	1 八幡市
元.7.11	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修5回目/8回	1 草津市
元.7.11	リコージャパン	福祉事業様向けお役立ちセミナー「ケア記録のIC化」活用・事例	2 草津市
元.7.12	甲南地域包括支援センター	甲南地域CM.民生委員との研修	4 甲賀市
元.7.16	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	令和元年度管理者研修会	1 草津
元.7.17	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修6回目/9回	1 草津市
元.7.18	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修1回目/11回	1 草津市
元.7.18~19	近畿老人福祉施設研究協議会	滋賀大会	8 大津
元.7.21	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 3回目/8回	1 京都
元.7.23	滋賀県介護サービス事業者協議会連合会	令和元年度労務管理研修会	1 草津市
元.7.24	厚生労働省	労働契約等解説セミナー2019	2 大津
元.7.24	全国経営青年会	研修企画事業「基礎講座」	1 東京
元.7.24	県社協	認知症介護基礎研修	3 草津
元.7.25	甲賀市役所	幼児教育保育の無償化実施に伴う説明会	1 甲賀市
元.7.25	全国経営青年会	研修企画事業「基礎講座」	1 東京
元.7.25	経営協青年部会	第2回役員会 座布団会	3 東近江市
元.7.25	仁生会 在宅医療支援センター甲南	「食事と栄養」の勉強会	3 甲賀市
元.7.25	甲賀市役所商工労政課	内定者フォローセミナー	1 甲賀
元.7.26	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修2回目/11回	1 草津市

実施年月日	講座名	参加人数	場所
元.8.1	滋賀労働局職業安定部	「滋賀ジョブフェア2019」事前説明会	1 大津
元.8.5	全国経営協	福祉分野における生産性向上のセミナー	1 東京
元.8.5	大津市保健所保健予防課	2019年度 大津市自殺対策研修会	1 大津
元.8.6	全国経営協	福祉分野における生産性向上のセミナー	1 東京
元.8.6	ケアテック名古屋2019	介護用品・システム・ケアフード 展示会	7 名古屋
元.8.6	甲賀市健康福祉部すこやか支援課	令和元年ゲートキーパー養成講座	1 甲賀市
元.8.7	ケアテック名古屋2019	介護用品・システム・ケアフード 展示会	4 名古屋
元.8.7	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修3回目/11回	1 草津市
元.8.16	介護労働安定センター	介護職員のためのコーチング研修	2 大津
元.8.19	県経営協	令和元年前期全国経営協 滋賀県経営協セミナー	1 大津
元.8.22	NOMA	セミナー「同一労働同一賃金」時代の人事処遇制度の見直し	1 大阪
元.8.23	TKK社福研セミナー	指導監査に対応するための業務改善	1 大阪
元.8.24	ばんじー	支援困難ケースのアセスメントとチーム連携を考える研修会	1 甲賀
元.8.25	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 8回分4回目	1 京都
元.8.27	近江未来の会	例会 選ばれる企業の労務管理	1 近江八幡
元.8.27	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修7回目/8回	1 草津市
元.8.27	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修4回目/11回	1 草津市
元.8.27	滋賀県商工観光労働部	企業内人権啓発人事・労務担当者研修会	1 大津
元.8.28	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践者研修8回目/8回	1 草津市
元.8.29	認定特定非営利活動法人 しがNPOセンター	ボランティアマネジメントを学ぼう	1 大津
元.8.30	県庁→県事務所→甲賀市役所	処遇改善書類提出	1 大津
元.8.30	甲南病院	研修会「誤嚥について」	5 甲賀市
元.8.30	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 1/8回	2 草津市
元.9.3	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 2/8回	2 草津市
元.9.3	滋賀インターンシップ推進協議会事務局	インターンシップ導入セミナー	1 草津市
元.9.3	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	令和元年度「高齢・障害者雇用助成金制度等説明会」	1 甲賀
元.9.5	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修5回目/11回	1 草津市
元.9.8	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 ボランティア活動	1 京都
元.9.9	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 3/8回	2 草津市
元.9.10	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修6回目/11回	1 草津市
元.9.10	甲賀健康福祉事務所	令和元年度甲賀圏域管理栄養士連絡会議	1 甲賀
元.9.11	滋賀県労働局職業安定部	働き方改革関連法説明会	1 栗東市
元.9.11	甲賀市企業人権啓発推進協議会	企業人権フォーラム	2 甲賀市
元.9.12	県社協	令和元年度 認知症介護基礎研修	1 草津市
元.9.13	滋賀県社会福祉審議会	民生委員審査専門分委会	1 大津
元.9.17	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 4/8回	2 草津市
元.9.18	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修7回目/11回	1 草津市
元.9.20	近老協	令和元年度近老協管理職研修会「働き方改革・同一労働同一賃金」	1 大阪
元.9.20	甲南病院	研修会「誤嚥を予防する食事形態の工夫」	4 甲賀市
元.9.21	厚生労働省委託事業 全基連	労働判例・政策セミナー	1 大阪
元.9.21	NPO法人 ばんじー	「支援者支援事業」事例検討会	1 甲賀
元.9.22	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 8回分5回目	1 京都
元.9.24	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修8回目/11回	1 草津市
元.9.24	甲賀市社協	ふくしまんパワーねっとごうか 学習会&交流会	1 甲賀市
元.9.25	福祉新聞フォーラム	決算書から読める法人経営の実態	1 東京
元.9.26	茨木未来会	第6回セミナー	1 大阪
元.9.26	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 5/8回	2 草津市
元.9.27	県社協	介護分野で働く滋賀の福祉人育成研修 新任第4回目 終了	4 草津市
元.9.28	県社協	カイゴとフクシ就職フェアinしが 出展	2 草津市
元.9.29	厚生労働省	「日本人の食事摂取基準(2020年度)」研修会	1 大阪
元.9.30	県社協	2019年度 認知症介護実践リーダー研修9回目/11回	1 草津市
元.9.30	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 6/8回	2 草津市
元.10.2	全国経営協	監事専門講座	2 大阪



実施年月日	講座名	参加人数	場所	
元.10.3	全国経営協	監事専門講座	2	大阪
元.10.9	滋賀の縁創造実践センター	第1回 ひたすらなるフォーラム	1	大津
元.10.9	県社協	しが介護の職場 新任職員フォローアップ研修・交流会	4	草津
元.10.10	甲賀保健所	普通救命講習会	3	甲賀
元.10.10	大辻税理士法人	最新！経理合理化セミナー	1	彦根
元.10.11	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修1回目/16回	1	草津
元.10.11	甲南病院	研修会「誤嚥機能アップするを予防する食事形態の工夫」	3	甲賀
元.10.15	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践リーダー研修10回目/11回	1	草津
元.10.16	厚生労働省委託	働き方改革・休み方改革シンポジウム	1	大阪
元.10.16	厚生労働省委託事業 日本ノーリフト協会	腰痛予防対策講習会	1	大津
元.10.17	甲賀市健康福祉部すこやか支援課	令和元年度主任介護支援専門員学習会1/3	1	甲賀
元.10.18	厚生労働省委託事業 ㈱東京リーガルマインド	令和元年度過重労働解消のためのセミナー	1	大津
元.10.20	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 6回目/8回	1	京都
元.10.21	県社協	令和元年度第一回フリースペース交流会	1	草津
元.10.25	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構	高齢者雇用ワークショップ「同一労働、同一賃金」	1	大津
元.10.25	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修2回目/16回	1	草津
元.10.30	全国権利擁護支援ネットワーク	権利擁護支援従事者研修事業	1	甲賀
元.10.31	県社協	2019年度 滋賀県認知症介護実践リーダー研修の実習結果報告会	2	草津
元.10.31	県立三雲養護学校	滋賀県立三雲養護学校「石部分教室ワーキングメッセ」	1	湖南
元.11.1	経営協青年部会	研修会「明日から使える時間管理術」	3	草津
元.11.1	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修3回目/16回	1	草津市
元.11.02	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 7回目/8回分	1	京都
元.11.03	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 8回目/8回分	1	京都
元.11.06	甲賀・甲南地域包括支援センター	令和元年度第2回甲賀・湖南地域介護支援専門員研修会	3	甲賀
元.11.8	滋老協 ケアハス委員会	研修会	1	守山
元.11.8	厚生労働省	アセッサー講習	1	大阪
元.11.8	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修4回目/16回	1	草津
元.11.11	県経営協	「労務管理セミナー」	2	草津
元.11.11	滋賀県甲賀保健所	令和元年度 入退院支援ルール評価検討事業における病院と介護支援専門員の連携調整会議	1	甲賀
元.11.12	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修5回目/16回	1	草津
元.11.13	甲賀市湖南市地域福祉人材確保事業	「管理職向けエーデル土山施設訪問研修会」	1	甲賀
元.11.14	滋老協	令和元年度滋賀県老人福祉施設協議会	10	草津
元.11.15	独)福祉医療機構	子ども・子育て支援事業経営セミナー	1	大阪
元.11.18	全国経営協	初級リスクマネジャー養成講座 前期1日目	1	東京
元.11.18	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修6回目/16回	1	草津
元.11.19	全国経営協	初級リスクマネジャー養成講座 前期2日目	1	東京
元.11.19	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 7/8回	2	草津
元.11.20	厚生労働省	労働契約等解説セミナー2019	1	大津
元.11.20	県社協	2019年度第2回 滋賀県認知症介護実践者研修 8/8回	2	草津
元.11.21	水口税務署	源泉所得税の年末調整説明会	1	甲賀
元.11.23	京都府滋賀県レクリエーション協会	レクリエーション・インストラクター養成講習会 ボランティア活動	1	京都
元.11.25	協同組合 一心	外国人技能実習制度 実施施設見学	3	大阪
元.11.25	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修7回目/16回	1	草津
元.11.27	県経営協	「労務管理セミナー」	3	草津
元.12.2	全国労働基準関係団体連合会	働き方改革関連法等 読み解きセミナー	1	大津
元.12.2	甲賀湖南介護支援専門員連絡協議会	令和元年度第2回甲賀湖南介護支援専門員連絡協議会研修会	2	甲賀
元.12.04	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修8回目/16回	1	草津
元.12.05	滋賀県社会保険労務士会 湖東支部	セミナー&相談会 傷病手当金、障害年金、雇用保険、労働契約等の基礎知識	1	近江八幡
元.12.06	損害保険ジャパン日本興亜㈱	令和元年度「福祉施設に望まれるハラスメント防止セミナー」	2	名古屋
元.12.09	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	介護保険施設介護支援専門員研修	1	草津
元.12.10	甲賀市企人協	企業・事業所対象人権研修会・企人協会員従業員対象研修会	1	甲賀
元.12.10	甲賀健康福祉事務所	令和元年度甲賀圏域管理栄養士連絡会	1	甲賀
元.12.10	リコー・ジャパン	働き方改革と情報共有の重要性/イベントセミナー	1	草津市

実施年月日	講座名		参加人数	場所
元.12.11	甲賀市	令和元年度主任介護支援専門員学習会2/3	1	甲賀
元.12.11	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修9回目/16回	1	草津
元.12.13	滋賀県	介護サービス事業所等に対する集団指導	1	大津
元.12.13	滋賀県	介護サービス事業所等に対する集団指導	1	大津
元.12.13	甲賀・甲南地域包括支援センター	令和元年度第3回甲賀湖南地域主任介護支援専門員会議	1	甲賀
元.12.16	滋賀県	介護サービス事業所等に対する集団指導	1	大津
元.12.16	全国経営協	初級リスクマネジャー養成講座 後期1日目	1	東京
元.12.17	全国経営協	初級リスクマネジャー養成講座 後期2日目	1	東京
元.12.22	びわこ学院大学短期大学部	令和元年度 介護実習指導者懇談会	1	東近江
元.12.23	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修10回目/16回	1	草津
2.1.7	滋賀県	令和元年度難病(小児を含む)対策従事者研修会	1	甲賀
2.1.15	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修11回目/16回	1	草津
2.1.16	滋賀の縁 創造実践センター	セミナー これからの共生社会を創造する 滋賀の福祉人セミナー	1	大津
2.1.17	リコージャパン	福祉業者向け お役立ちセミナー&展示会	3	草津市
2.1.19	日総研	セミナー 事故・トラブルを想定した同意書・謝罪・記録の方法	1	大阪
2.1.20	滋賀県看護協会	災害看護研修会	2	草津
2.1.20	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修12回目/16回	1	草津
2.1.20	滋賀労働局職業安定部	「滋賀ジョブフェア2020」事前説明会	1	大津
2.1.21	日本認知症グループホーム協会	令和元年度 第1回職員研修 グループホームに於ける人材育成	2	草津
2.1.21	NOMA	セミナー メンタル疾患社員の休職・復職の実務対応	1	大阪
2.1.21	NOMA	一日でわかる社会福祉法人会計の基礎実務	1	大阪
2.1.24	国際厚生事業団	特定技能制度説明会	1	名古屋
2.1.25	甲賀・湖南成年後見センターばんじー	事例検討会	1	湖南
2.1.27	滋賀の縁 創造実践センター	令和元年度第2回フリースペース交流会	1	栗東
2.1.27	甲賀市湖南市地域福祉人材確保事業	「就労5年目までの職員向け交流研修会」	2	甲賀
2.1.29	甲賀市社会福祉協議会	令和元年度 甲賀市社会福祉協議会職員メンタルヘルズ人権研修	1	甲賀
2.1.31	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修13回目/16回	1	草津
2.2.3	県社協	令和元年度 全国経営協 滋賀県セミナー (後期)	1	草津
2.2.4	厚生労働省委託所業務	「労働法の教え方」セミナー	1	大阪
2.2.4	滋老協	研修会 事例に学ぶ社福経営の今後	1	草津
2.2.5	社団)福祉経営研究機構	社会福祉の経営力強化 セミナー	1	大阪
2.2.6	龍谷大学	2019年度社会福祉援助技術現場実習報告会	1	草津
2.2.6	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修14回目/16回	1	草津
2.2.6	県社協	令和元年度「しが介護の職場 新任職員フォローアップ研修・交流会」	4	草津
2.2.6	甲賀病院	令和元年度 第1回在宅医療従事者スキルアップ研修会	2	甲賀
2.2.10	しがヤングジョブパーク	社員想いの会社で働きたい! 合同企業説明会×業界研究会出店」事前説明会	1	大津
2.2.12	福祉施設士会	第30回近畿ブロックセミナー京都大会	1	京都
2.2.12	滋老協	次代を担うリーダー育成 1回目/3回	4	守山
2.2.13	福祉施設士会	第30回近畿ブロックセミナー京都大会	1	京都
2.2.13	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修15回目/16回	1	草津市
2.2.15	公益社団法人 滋賀県看護協会	訪問看護師・訪問介護職員安全確保・離職防止対策研修会	1	草津
2.2.17	県経営協	滋賀県経営協「新36協定届けの書き方セミナー」	1	草津市
2.2.19	介護労働安定センター	令和元年度 外国人介護人材確保のポイント	1	草津市
2.2.20	(独)高齢障害求職者雇用支援機構	令和2年度障害者納付金制度事務説明会	1	甲賀
2.2.26	滋老協	次代を担うリーダー育成 2回目/3回	4	守山
2.2.27	県社協	2019年度 介護職員チームリーダー養成研修16回目/16回	1	草津
2.3~	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各種研修等 中止			
			322	平成30年度 325人

(8) 職員配置数

	施設長	事務員		生活相談員	介護支援専門員		管理栄養士	介護職員		看護職員		機能訓練指導員		調理員	医師	その他		実人員	常勤換算計	
		常勤	非常勤		常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤			常勤	非常勤			
H30年度末	1	4	1	5	5	2	2	35	52	3	7	0	0	3	13	1	0	11	145	109.45
令和元年度	採用・異動	0	1	1	1	0	0	12	13	0	1	0	0	1	2	0	0	5	38	注産休育休 休職2名 復職3名
	退職・異動	0	-1	0	-1	-1	0	-10	-8	0	-1	0	0	0	0	0	0	-3	-26	
	休職	0	0	0	0	0	0	-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-3	
	復職	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	計	0	0	1	0	0	-1	0	2	5	0	0	0	0	1	2	0	0	2	
令和元年度末	特養	1	4	2	1	2	0	1	15	20	2 (1)	4	0 [1]	0	1	13	1	0	8	75
	ショート	0	0	0	1	0	0	0	8	6	1	0	0	0	1	0	0	0	1	18
	デイ	0	0	0	1 (1)	0	0	1	3 (1)	14	0	3 (3)	0	0	1	0	0	0	4	27
	居宅	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	ケア	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	グループホーム	0	0	0	1	0	1	0	8	14	0	0	0	0	0	2	0	0	0	26
	訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
計	1	4	2	5	5	1	2	37	57	3	7	0	0	4	15	1	0	13	157	115.97
R2年度当初	1	3	2	5	5	1	2	37	57	3	7	0	0	4	14	1	0	13	155	114.82

※令和元年度末

B-A=+6.52

・特養・ショートにおける介護職員・看護職員対入所定員比=3:1.52

- ・ ( 常勤職員 61名 ) ※① 非常勤職員 ( 96名 ) には、非常勤医師 1名を含む。
- ・ ( 非常勤職員 96名 ) ※② 介護職員のうち [ ] 内 再掲にて生活相談員と兼務
- ※③ 看護職員のうち ( ) 内 再掲にて機能回復訓練指導員と兼務
- ※④ 機能訓練指導員のうち [ ] 内 再掲にて看護職員と兼務

(9) 資格取得・研修終了者ほか

	資格・研修名	資格取得者・研修修了者
資格取得	認定社会福祉士	( 正規 ) 1名
	社会福祉士 (計 11名)	( 正規 ) 10名
	精神保健福祉士	( 正規 ) 1名
	介護福祉士 (計45名)	( 正規 ) 30名
		( 嘱託 ) 2名
		( 非常勤 ) 13名
	介護支援専門員 (計17名)	( 正規 ) 13名
		( 嘱託/非常勤 ) 4名
管理栄養士	( 正規 ) 2名	
認知症ケア上級専門士	( 正規 ) 1名	
認知症ケア専門士	( 正規/非常勤 ) 5名	
研修等	認知症介護実践リーダー研修	( 正規 ) 8名
	認知症介護実践者研修	( 正規/嘱託/非常勤 ) 24名
	介護福祉士実習指導者講習会	( 正規/嘱託 ) 11名
	社会福祉士実習指導者講習会	( 正規 ) 7名

(10) 職員概況状況

有給休暇取得率 (%)

(有休取得数/当該年度発生有休日数)

令和元年度	平成30年度
89.1%	84.7%

○リフレッシュ休暇 ( ) 内平成30年度

対象者 (勤続5年以上) : 38名  
利用実人数 : 0名 利用延日数 : 0日 (32日)

○自己研鑽休暇 ( ) 内平成30年度

利用実人数 : 3名 (5名)  
利用延日数 : 10日 (21日)

平均年齢(歳)

	令和元年度	平成30年度
常勤	37.8	37.8
非常勤	54.8	55.1

平均勤続年数(年)

	令和元年度	平成30年度
常勤	9.1	9.0
非常勤	6.7	6.7